

科目名	経済学 I	JABEE科目	科目コード 044
-----	-------	---------	--------------

学年・学科等名	4・5 学年	全学科	選択科目
単位数・開講期	1 単位	前期	
総時間数	45 時間	講義＋教室内自学自習 30 + 自学自習 15	
担当教員	根本 聡		

本校の教育目標	1	一般人文科の教育目標	3
---------	---	------------	---

JABEE関連	教育プログラム科目区分	105一般基礎科目社会系
	教育プログラムの学習・教育目標	B-1(20%) B-2(60%) B-3(20%)
	JABEE基準	abd

教科書名	特に指定しない。
補助教材	図版、プリント、地図、新聞等。
参考書	随時紹介する。

A. 科目の概要と到達目標

現在は、政治・経済・社会・文化の面における一大転換期であり、経済主義的なものの見方にも大きな反省が迫られ、経済学自体も変化している。本講義では、経済に関する基本知識と経済学的思考法を身につけながら、変化のなかにあるさまざまな経済社会と世界経済との相互関係について、多面的・構造的にとらえる目を養い、新しい経済の可能性と未来へのビジョンを描くことを目指す。第二の目標は、環境経済学や開発経済学の知見を取り入れることによって、地域に根ざしつつも、グローバルな視点で考えることができるようにすることである。

B. 概要

本講義では、経済学の基本的概念を学習する。その際、経済学Ⅱと関連しつつも、それとは異なって、とくに国民経済に力点を置くことにする。そこで、経済学を学ぶにあたっての導入として、第一に、偉大な経済学者の言説を紹介する。第二に、景気上昇、不況脱出の方法論を経済学理論にそくして理解する。第三に、いわゆる「資本主義の精神」の根本を理解するための基本知識をおさえる。以上を総合して、グローバリズムの諸問題や環境問題を経済学的に考察する。

C. 学習上の留意点

時事問題はもちろん、歴史に学ぶことが重要である、多分野に関心をもつことも望まれる。そして、講義で喚起された諸問題を、自ら探求・調査し、自らの頭で考える姿勢が求められる。

D. 評価方法

試験(100%)

E. 授業内容

授業項目	時間	内 容	教育プログラム
1. オリエンテーション	2	現代日本のさまざまな経済問題の根本原因を理解し、経済学の重要性を認識することができる。	B-1 B-2
2. 経済学の背景 (1)資本主義の発展 (2)偉大な経済学者	8	経済学成立の時代背景を理解できる。 経済思想は政治家や軍人の行為以上に深い影響を人々に及ぼし、世界を変える力をもった。歴史の中にさまざまな経済をみることで、経済学の背景を理解することができる。 スミス、マルクス、ケインズ、シュンペーターの経済学の特徴を理解し、彼らの先見性と現代の経済問題を関係づけることができる。	B-1 B-2

授業項目	時間	内 容	教 育 プログラム
(3) 政府の傾向と役割		経済にどのような傾向があるのかを、成長、企業、政府に即して考察することができる。	
3. 経済学の基礎 (1) 需要と供給 (2) ストックとフロー	5	経済学の基本的な概念について学習する。 好況と不況、インフレとデフレ、貧困と富、成長と停滞、これらのすべては富の生産と分配で説明可能であるので、これらの基礎的な事項を理解することができる。 有効需要の理論を理解することができる。	B-1 B-2 B-3
(前期中間試験)			
実施せず			
4. マクロ経済学 (1) 家計の需要 (2) 企業の投資	8	マクロ経済が実際にどのように動いているかという初歩的な知識を得ることができる。 貯蓄-投資の関連を理解しながら、マクロ経済の動的な循環をおさえることができる。 企業の投資について、在庫調整を考慮しながら、理解することができる。	B-1 B-2 B-3
5. 国際経済交流の諸問題 (1) グローバリズムの光と影 (2) 環境問題の虚実	7	国際経済の基本知識を学習する。 ヨーロッパ、アメリカ、中国、日本などにおける経済体を比較検討することを通じて、グローバリズムの諸問題についてビジョンを得ることができる。その際、各文明における家族観や社会観、自然環境に対する考え方(環境問題)などに注目し、比較の視座をもつことができる。 環境問題を経済学的に考察し、その本質を理解することができる。	B-1 B-2 B-3
(前期末試験)			
◆ 自学自習 ・ 課題によるレポート ・ 定期試験の準備	15	自学自習時間として、日常の授業の復習や予習、および資料調査や論述といった試験等のための準備学習にあてることができる。	B-1 B-2 B-3

F. 関連科目

社会、歴史、地理、数学、法学、経済学Ⅱ、政治学、史学、哲学、文学、心理学、国際関係論、国語、英語、自然科学概論、産業財産権論